

 <p>Keio University 1858 CALAMVS GLADIO FORTIOR</p>	<p>慶應義塾 調布三田会会報</p>	<p>調布三田会 発行人 岸野千賀子 ckishino1225@gmail.com ホームページアドレス http://chofu-mitakai.com/</p>
--	-------------------------	--

第34回調布三田会総会

長い連休も明け「令和」となった5月12日(日)、15時より第34回調布三田会総会をたづくり12階大会議室で開催しました。ご来賓は、塾、調布稲門会、近隣の三鷹、多摩、武蔵野、狛江、国分寺、国立各三田会から11名をお迎えし、会員、ゲストを含め全体で89名の参加となりました。

第一部定時総会は鈴木浩子君(58文)の司会にて塾歌斉唱で幕を開け、前年度ご逝去された辻捷二君(41経)、磯村明子君(40文)に黙祷。岸野会長(51文)挨拶のあと、ご来賓を代表して、塾員センター北村課長と調布稲門会岡田会長からご祝辞をいただきました。

議事に入り、議長に選出された奥山隆敏君(45経)の進行にて、2018年度活動報告、同決算及び監査報告、2019年度活動計画案、同収支予算案が審議され、それぞれ原案どおり承認されました。

第二部は、塾員でラグビー元日本代表の猪口拓氏にラグビーワールドカップ日本2019に向けたご講演をいただきました。地元味スタ開催の大会が待ち遠しくなる話を興味深く伺いました(講演要旨は2面に掲載)。

休憩をはさんで第三部懇親会。川端弘子君(56KP)の司会、岸野会長の発声で乾杯し、講師ご来賓も交え、なごやかに歓談しました。田辺幹事長から、この日が入会当日の乙竹正善君(43法)、白井靖士君(H2文)を含む本日出席の新会員5名が紹介されました。

お楽しみ福引タイムは堀尾明君(54政)、米持一夫君(55経)のコンビと若手メンバーで進行しました。演壇を飾った蘭をはじめ26鉢の花や慶応グッズ、ラグビーワールドカップラベルの焼酎、ワイン、スポーツウェア等55本の景品が用意され、当選の席札ナンバーが発表されるごとに大いに盛り上がりました。

腰原武人君(H2法)のトランペットで、肩を組んで「丘の上」「慶應讃歌」、さらに高瀬一郎君(53商)のリードも加わり「若き血」を斉唱。小西哲夫君(47経)の中締めでお開きとなりました。終宴後の会場整理は幹事以

外の皆さんにもご協力いただき速やかに終了、調布三田会の良さをつくづく感じるひとこまでした。



<会長挨拶> 岸野千賀子(51文)

この一年会長として二つ課題に取り組んできました。第一は、ホームページ(HP)の活用と通信手段の電子化です。行事出欠をHPで行う試みは、一部トラブルもありましたが、通信手段の電子化という方向性自体間違っていないと思います。引き続きHPの活用と行事出欠の連絡方法について検討していく方針です。

第二の課題は、新入会員の勧誘です。昨年以降6名が新規に入会する一方で、退会者が12名ありました。会の持続的な発展の為には新入会員が不可欠です。今回HPを見て入会申請された方もいるので、その充実に取り組んでいく積りです。また、調布と府中には卒業30年・35年の塾員が約100名在住しています。新たな試みとして、これら塾員に会報を送付し、入会案内を行う計画です。

これからもこれらの課題に取り組み、「会員同士が協力して楽しい時を共に過ごす」調布三田会の伝統を守っていく所存です。



総会第二部 講演会

「ラグビーワールドカップ日本2019の展望」

総会第二部は、元日本代表の猪口拓君(H17政)の講演。副題は「あの感動をもう一度」。

猪口君は、慶應義塾中等部に入学後にラグビーを始め、高校と大学時代には主将を務めました。U21日本代表の時に会った当時の薫田真広・東芝監督に誘われて卒業後は東芝ラグビー部に入社。東芝ブルーパスのフッカーとして活躍し、2007年には日本代表でワールドカップに出場しました。

しかし猪口君が出場した際、オーストラリア相手に3-91で大敗しました。2007年と2011年はともに予選を3敗1分けで敗退し、1勝も挙げられなかった日本代表でしたが、2015年には対南ア戦で34-32、しかもロスタイムで大逆転勝利して「スポーツ史上最大の番狂わせ」と話題になりました。

猪口君の分析ではここまで強くなった要因は3つ。当時のエディージャパンがベスト8に入ると誰も信じていなかった目標を定めたことによるマインドチェンジ、世界一厳しい練習によるハードワーク、そして選手の団結・決断力です。

さらにあの劇的勝利からこの4年間で、ティア1レベルとの圧倒的な試合経験を積み、GPS装着による分析でフィジカルと戦術面を強化し、主将のリーチマイケルを軸に主体的なチーム作りをしたことで、今年のワールドカップはさらに期待が持てると猪口君はみています。予選はまずロシア戦に勝って(負ければ敗退濃厚)、その勢いで3勝1敗にすれば予選通過、4強入りも夢ではない、代表選手の中では慶應義塾出身の山田章仁選手にも注目したいと期待を膨らませています。

昨年、早稲田に土壇場で逆転された慶應義塾体育會蹴球部も今年から新ヘッドコーチの栗原徹氏を招聘し、元早稲田の三井大祐コーチも加わる体制で期待してい

ると締めくくりました。

質疑応答では、他の予選グループの見どころ、学生と社会人ラグビーの実力差が開いていることが紹介され、懇親会でも歓談。宮元俊秀君(35経)が猪口君は慶應大学歴代ベスト15に選ばれていると指摘すると、本人も知らなかったようで喜んでくださいました。

新年会

2月2日(土)、調布クレストンホテル8階宴会場において、調布三田会新年会を開催しました。今年はゲスト3名を含む73名が参加し、込山俊博君(60理)の司会でスタートしました。

岸野会長の挨拶に続き、黒柳裕士君(55商)の乾杯の音頭で、早速そこかしこで歓談の輪が広がりました。アルコールも入り、賑やかに盛り上がったところで、今年の新春アトラクション出演者、早稲田大学津軽三味線愛好会「三津巴」が登場。

大学入学後に三味線を始めた初心者も多いというメンバーは、1年生4人、2年生6人の若々しさ。力強い「六段の調べ」で演奏が始まりました。1人ずつの自己紹介では、「試験が終わったばかりです」等の学生ならではの話題もあり、三田会会員からもあたたかい応援の拍手。「東京ブギウギ」「東京音頭」では歌声も上がり、会場の皆が笑顔で一体となりました。サプライズの「塾歌」の演奏には一段と大きな拍手が贈られ、全9曲の演奏が大好評で終了。その後、しばし歓談となりました。

最後は、高瀬一郎君(53商)のリード、腰原武人君(H2法)のトランペットで、全員が肩を組んで「若き血」を合唱。上村美紀君(H1文)の中締めでご息女の慶應入学の話題が披露されると、またひときわ盛り上がり、お開きとなりました。



観桜会

新元号「令和」が発表されるまさにその前日の3月31日に平成最後の調布三田会観桜会が、今年も神代植物公園において開催されました。

20名を大きく超えるメンバーが集い、銘々が持ち寄った銘酒や心のこもった手作りのおつまみ・料理を肴に親交を深めました。

今年は気候が、まさに三寒四温という言葉通り、季節外れな暑さ・寒さが繰り返される年でしたが、当日は過ごしやすい曇天の中、満開やや手前のタイミングで、十分に桜の花を楽しむことができました。

宴の途中から、柴田精一会長(38経)も参加され、久々にお会いする会員、初めてお目にかかり自己紹介をする会員など、和気あいあいと親交を深めることができました。

また、ご夫妻で会員のご子息で現役の塾生の方も特別参加頂き、当世大学生事情等のはるか昔に卒業した大部分の会員からすると隔世の感がある(?)貴重な話で盛り上がりました。

一年後の観桜会での再会を期し、全員で記念撮影をしてお開きとなりました。 大久保茂治(H2経)



多摩川・野川クリーンアップ作戦

地域貢献に積極的に参加を!

調布三田会では、地域貢献活動として、春秋の多摩川の清掃と秋の野川の清掃に参加しています。4月14日(日)には朝8時より、長友市長を含めて会員5名が春の多摩川クリーン作戦に参加しました。今年で40年続いている活動です。秋の野川清掃もあり、次回、皆さんの参加をお待ちしています。

調布探訪⑤ 一多摩川土手を歩く一

「多摩川にさらす手づくりさらさらに何そこの子のここだ愛しき」(万葉集巻14 東歌-3373)

新元号で注目された万葉集に触発されて、多摩川を歩きました。多摩川原橋の少し上流から調布市に入ります。多摩川清掃活動はこの辺りから下流にかけて行っています。

京王相模原線は大正5年6月に多摩川原(現京王多摩川)まで開通、元々多摩川の砂利運搬用の支線でした。その採取跡地を利用して、当時の一大行楽地「京王閣」がつけられました。アンジェと競輪場はその名残です。ちなみに是政の競艇場も砂利採取の大穴の再利用です。鉄橋の下流では消防出初式が行われます。一斉放水はなかなかの見ものです。そして「調布花火」、今年は9月7日(土)に開催されます。

桜堤通に降りると大魔神が立つ角川大映スタジオがあり、すぐ近くの多摩川5丁目児童公園には「映画俳優の碑」「調布映画発祥の碑」が建っています。

対岸の多摩丘陵は万葉集で詠われた「多摩の横山」です。二ヶ領堰堤前の土手からは、水音と川風が心地よく、よみうりランドの上に富士山が遠望できます。

さて、冒頭の万葉の歌碑が、狛江市に入っすぐ、水神前交差点を左に曲がった住宅街にあります。松平定信揮毫による1805年建立の石碑は洪水で流されましたが、渋沢栄一らにより大正時代に現在の碑が再建されました。なお、京王線鉄橋脇の多摩川児童公園にも2首を刻んだ万葉歌碑が建てられています。歴史に思いを巡らしつつ、多摩川土手を歩いてみませんか。



調布三田会では13の同好会が活動しています。新しく入会された方も、きっかけが無くてまだ参加していないという方も、興味のある同好会があったら一度世話役までご連絡ください。お試し参加も可能です。

ローカルクラブ

世話人：寺川毅 terako-butti@jcom.zaq.ne.jp

今年最初のローカルクラブ、集合は湘南新宿ライン最後尾付近とある、ホームに上がったのはいいが、どこが前やら後ろやら？トホホ。前後を確かめようとキョロキョロしていると、3人の参加者と遭遇、結局ホームの端から端まで歩いてなんとか無事集合。

総勢28名、10歳から80代迄の年代幅とご夫婦で参加(7組)の多いのがこの会の特長で、今回はジパング特典を使えるのがありがたい。行きの車内は小グループに分かれ比較的穏やかなスタートだった。宇都宮駅からバスに乗り、愈々目的の大谷石の採掘場へ。

まず、専任のガイドさんのレクチャー、①当地は何処を掘ろうが削ろうが、全部が大谷石 ②採掘場は何百か所もある ③地下数十mは通年10℃を下回る ④掘削作業の変遷を聞く。

坑道を降りて地下へ、想像以上に広大で幻想的な世界、映画や写真で見た光景も散見、色々なイベントにも使われているようだ。石の化学作用でワイン等の熟成効果もあるらしい、これは試してみる必要がある。

地上に戻り、平和観音様に三田会の弥栄を祈り、自身の日ごろの不行跡を詫びて“ペコリ”。その後大谷寺拝観し、歩いてレストラン「OHYA FAN TABLE」へ。

ほぼ貸切り状態で3テーブルに分かれ着席。ビールで乾杯から始まり、一挙にランチへ。ワインも赤白とも堪能したが、大谷石による熟成の効果をはっきり確認出来なかったのが心残り。

食後はバスで再び宇都宮駅へ。発車迄、各々時間調整目指すグリーン4号車・2階席へ。全員が着席した

頃、車内幹事から飲み物・つまみが配られ宴会スタート！大宮辺りまで来た頃には、4号車はすっかり「居酒屋 三田会ロートルクラブ？」と化していた！

一粒で2度おいしい三田会ローカルクラブ デッセ！
皆さんも如何？ 小西哲夫(47経)

<世話人からの呟き>

中村洋右先輩(25経 H29逝去)からそそのかされてローカルクラブ世話役を引受け9年。この間の催行は下記の通りでこの秋に18回を迎えることとなる。

- 第1回 2011/05「SL列車」で「秩父・大滝温泉」を探訪
- 第2回 2011/11「JR 両毛線」で「足利学校」を訪ねる旅
- 第3回 2012/06「伊豆箱根鉄道」で「大雄山最乗寺」往訪
- 第4回 2012/12「JR 鶴見線」で「京浜工業地帯」を楽しむ
- 第5回 2013/03「菜の花列車」で「大多喜城趾」を訪ねる
- 第6回 2013/11「高速焼物ライナー」で「笠間」を訪ねる
- 第7回 2014/05「木更津」から「JR・フェリー」で湾内一週
- 第8回 2014/11「桐生」と「井の頭線の旧型車」を味わう
- 第9回 2015/06「富士急行」で御師の町「富士吉田」往訪
- 第10回 2015/11「東武特急」で晩秋の蔵の街「栃木」探訪
- 第11回 2016/06「ローカル私鉄」を乗継いで「大洗」一巡
- 第12回 2016/11「高速バス」と「JR」で「佐原」を味わう
- 第13回 2017/05「JR 高崎線」で「さきたま古墳群」訪問
- 第14回 2017/11「秩父鉄道」で秋の「長瀨」を楽しむ旅
- 第15回 2018/06「JR 東海道線」で「真鶴半島」を訪ねる
- 第16回 2018/11「JR 中央線」で秋の「甲府盆地」を満喫
- 第17回 2019/06「JR 宇都宮線」で「大谷石採掘跡」往訪

毎回の食事の場所をセットするのが苦労だが、幸いこれまで大過なく過ごせたことは参加各位の協力のお陰。心より感謝。多少の苦労はいとわず、今後も気力の続く限りこの「大人の遠足」を続けようと思っている。引き続き皆様の参加を宜しく願います。



ハイキング同好会

世話人：堀尾明 andy-horio-4809@outlook.jp

<ハイキング>

5月18日(土)10時、青梅線「軍畑駅」に6名が集合。今回は奥多摩の前衛となる青梅丘陵を歩いてきました。前半は雷電山、辛垣山、三方山の三山を歩くルートです。このコースが入門編ですか？との声を聞き流し、ひたすらアップダウンのあるコースを邁進いたしました。「青梅中央アルプス」という別名があるそうで、展望はあまりありませんが、山歩きの趣は味わえるコースです。後半はほぼ林道のような広い遊歩道を木漏れ日を浴びながらのんびりと下山し青梅市街におりました。1名が駅周辺で行方不明になるというハプニングもありましたが、駅前の鄙びた蕎麦屋で地元の銘酒「澤ノ井」をいただきながら乾杯。帰りの電車では爆睡の会員も見受けられましたが、無事に全員帰宅。



<ウォーキング>

GWの初日、曇天の中15名でまずは新宿御苑を散策。今回は奥様同伴が3組もいてアットホームな雰囲気。初めての方も多かった大温室を皮切りに、日本庭園、イギリス庭園、フランス庭園を回り千駄ヶ谷門から退出。小雨が降りだす中、建設中の新国立競技場を横目に眺めながら、絵画館へ。昔、慶早戦の時、飛び込んだ噴水が懐かしく思い出されました。

プロ野球や大学野球開催の喧騒の中、外苑銀杏並木を散策。皆様方健脚故、予定よりも1時間早く全工程を終了。外苑前駅近くの居酒屋で打ち上げ。ほろ酔い気分です。帰路に就く。



現役世代の会

世話人：川野辺毅 mkt-nobe5832@i.softbank.jp



平成最後の調布三田会現役世代の会は、この春に移転オープンした「調風」に4月21日(日)、岸野会長をはじめ17名が集いました。

春の陽気と居心地の良いお店の雰囲気も手伝ってお酒も進み、楽しいエピソードを交えた近況報告で盛り上がり、心もお腹もいっぱいになったところでお開きとなり、にっこりほろ酔い笑顔の集合写真を撮ってお店を後にしました。

稲田恵美(H9 環)

ランニング同好会

世話人：米持一夫 yone314@jcom.home.ne.jp

1月27日(日)第63回調布市民駅伝40歳以上の部(4km×5)に参加し完走しました。選手は飯島君、川野辺君、池田君、秋山君、込山君、記録は1時間42分18秒でした。

6月9日(日)には、河村君(40法)のご縁で旭化成陸上部OGの後藤朱里さん、志垣めぐみさんを特別コーチに迎え、13名が参加して、武蔵野の森公園にて合同練習会を開催。ハムストリングとお尻の筋肉を使って疲れずに長い距離を走るコツや効果的なスクワットなど、大いに参考になり、気持ちよい汗を流しました。練習後は恒例のクリスマス亭で懇親を深めました。



グルメの会

世話人：橋本定明 shasimo@jh.ejnet.ne.jp

これまで春・秋の年2回ペースでの開催と「毎回違う店で」の原則を維持して通算45回を誇る「グルメの会」は今回スペイン料理を楽しみました。去る4月21日(土)四谷三丁目駅に直結した「消防博物館」見学からスタート。「食欲の前に知識欲を満たそう」と、江戸の町火消しから始まる消防の歩み、明治のポンプ馬車や戦後のベント梯子消防車まで多岐に亘る展示説明を全員興味津々で見聞。館内解説員の方のガイダンスも拍手喝采で見学終了。さて、今度はいよいよ食欲の番、四ッ谷駅方面に徒歩にて移動し、「ラ・ボケリア」にて賑々しくランチ開始。皆さん歓談の中、生ハム・プロシュートから魚介・肉料理等を肴にスペインワインを満喫しつつパエリアに舌鼓を打ち鳴らし、特製デザートでお開きと相成りました。

関尚雄(61経)



FC東京ファンクラブ

世話人：柳谷一郎 iyanagiya@nifty.com

今年創設21年目を迎えたFC東京はJ1リーグでの優勝はまだない。創設11年目の我々FC東京ファンクラブのメンバーも当然に経験はない。かろうじてカップ戦を2004年と2009年に、天皇杯を2011年に獲得したことがある。毎年優勝を夢見ながら結局中位で終わってしまい、特にスタジアムに人が多いときに限って負けてしまっがっかりした記憶がある。ところが今年はホームで7連勝と応援すればすべて勝利の美酒を味わえるという奇跡的なことが起きている。17歳で日本の至宝、久保建英選手たけふさの活躍もあり、アウェイを含めても12戦負けなしと堂々の首位を走っている(5/20現在)。ところが最近一緒に喜びを味わう参加者が少なく寂しい状況。せつかく間近にあるスタジアムの地元調布のチームをぜひ一緒に応援しましょう。



ボウリング同好会

世話人代理：池田勝彦 katsuhiko.ikeda@gmail.com

5月25日(土)、笹塚ボウルにて開催。17時といつもより遅めの開始となったが、最年長の川人君(29工)、新入会の金井君(51法)ら8人が参加。2レーンに分かれて2ゲームを楽しんだ。池田君(59文)が合計280点で優勝。ゲーム後は、反省会のみ参加の小西君(47経)も加わって新宿へ繰り出し、居酒屋で乾杯した。



カラオケクラブ

世話人：鈴木薫 kaorusuzuki@moon.cims.jp

現在、3月、7月、11月の年3回のペースで活動しています。会場は調布駅北口の「コートダジュール」参加人数は毎回15名前後です。17時スタートで3時間半、和気あいあいと楽しい時間を過ごしています。幅広い世代の方々が集い、十八番や新曲など思い思いに歌い、グラスを片手に語り合う同好会です。



蕎麦打ち同好会

世話人：石黒良昭 brack-stone@jcom.home.ne.jp

毎月たづくりで例会、打った蕎麦は家族へお土産。児童養護施設でそば打ちボランティアも実施。江戸を舞台とした時代小説に必ずと言って良い程登場する粋な江戸流二八そば、あなたも一緒に楽しみませんか。



丘の上句会

世話人：寺川徳子 nontera-cleo@jcom.zaq.ne.jp

6月の季題は「釣堀、苺、蚊」を一句ずつ他雑詠2句です。やさしいようで平凡な発想になりやすい季題。どんなのが出来てくるでしょう。歳時記を繙いて、好きな句を探して見ました。「苺」から一句。

「青春のすぎにしこころ苺喰ぶ 水原秋櫻子」



テニス同好会

世話人：益子淳 mashiko@teq-kobo.com

定例練習会は毎月2回日曜に緑ヶ丘コートで行っています。平日特別練習会は毎月1回火曜に柴崎大町コートで行っています。初心者の方には随時臨時講習を行いますので、お問い合わせ下さい。



音楽同好会

世話人：岸野千賀子 chikako_kishino@hotmail.com

「日常生活の中で、ジャンルを問わず気軽に音楽を楽しむ」をモットーに、毎回10名前後の参加者を得て活動しています。今年は、1月19日の桐朋学園オーケストラの定期演奏会(於グリーンホール)、そして7月7日のオカリナ七重奏(於三鷹市芸術文化センター)を鑑賞しました。桐朋学園オーケストラでは、若い音楽家たちの素晴らしい演奏に感動し、また、オカリナの演奏会では、イタリアから来訪した演奏家たちの洒脱なステージパフォーマンスを大いに楽しみました。終演後の懇親会でも話題が付きず、楽しい時間を共有しています。



ゴルフ同好会

世話人：河村秀昭 hdkm@jcom.home.ne.jp

5月23日(木)絶好のゴルフ日和のなか相武CCで稲門会8名・三田会7名で決戦が開かれた。河村幹事から諸注意の後アウトからスタート。天気は暑くなく快適なのでスコアは腕次第となり、各自日頃の成果を出すべく競ったが、中々気持ちに腕がついて行かず苦戦の連続であった。結果は幹事の河村君が優勝、団体戦は文句なく三田会の4連勝となり「丘の上」を歌いたいところであった。ベスグロは関君と稲門の川崎さんが86で分けた。5つのニアピンは三田会が独占した。4月4日(木)満開の桜のもと武蔵野GCで行われた三田会単独コンペは関君(38経)が優勝。 清水貞男(37経)



私の学生時代

塾生時代 柴田精一(38経)

入学時にはクラブ活動をどうするか相当悩みました。最終的なキッカケは母校土佐高から野球部に三人も入部したことで、彼らを励ましたく、中でも大橋勲君(卒業後巨人軍入団)が一年春から捕手・四番でデビューしたことが大きな刺激となり応援指導部に入部。リーダー部門とブラスバンド部門があるが、身体が小さい為リーダーは敬遠、バンド部員になりました。バンドの中で花形のトランペットをやるように言われ、早く良い音が出せるように夏休みも一人部屋に籠り頑張ったのが懐かしく思い出されます。二年の時に有名な慶早六連戦。日本最初のバトントワラー高山藍子嬢(慶應女子高三年)が登場。早朝から人文字用縄張り、バンド合戦、応援、夜は翌日用のメガホン作りと大変な思いと貴重な体験をしました。

四年の時には慶早戦で大橋君の三塁適時打で優勝。



神宮から三田山上迄バンド先導の提灯行列。唇よ裂けよとばかりにトランペットを吹き鳴らしました。

応援演奏の練習、合宿。それ以外に幼稚舎から女子高に至る迄の応援歌の歌唱指導、今でも多分学生の催しとしては最大の慶早戦前夜祭、演奏旅行、演奏会(東京文化会館)、活動費確保の為の都市対抗野球の応援、デパートでの集団アルバイト、個人の家庭教師と多岐に亘る活動をしました。それでも授業は30弱のAを確保、卒論もギリギリで提出、何とか合格等、ささやかな誇りとしています。

お知らせ

● 訃報

辻 捷二君(41経) 2018年10月ご逝去

磯村明子君(40文) 2019年4月ご逝去

田中和彦君(43文) 2019年6月ご逝去

ご冥福をお祈りいたします。

岡田文男さん(調布稲門会会長、68才)

2019年6月17日ご逝去

生前のご厚誼に深謝し、心からお悔やみ申し上げます。

● 今後の予定

10月5日(土) 秋の音楽会

10月20日(日) 連合三田会

11月10日(日) 多摩川クリーン作戦

11月23日(土) 野川クリーン作戦

12月1日(日) 福祉バザー

2月1日(土) 新年会

● 新入会員紹介(会報41号以降、入会順)

徳田秀子君(47文)、波田芳信君(48政)、

金井宏之君(51法)、白井靖士君(H2文)、

乙竹正善君(43政)、田村 恒君(42商)

● 新入会員募集

知り合いの塾員に調布三田会への入会をお勧めください。

問い合わせ先/連絡先:

幹事長 田辺一男

Tel: 090-3092-7048

Email: tanabe@ohhara-iaw.jp

● お願い

住所、電話番号、メールアドレスの変更等あれば上記の幹事長あてにメールでお知らせください。

編集後記

体調を崩され暫く会の行事に欠席されていた柴田精一君(38経)が観覧会に元気な姿を見せてくれました。

「私の学生時代」の原稿執筆をお願いしたところ、手の不自由にもめげず快くお引き受け頂き有難うございました。奥様のご協力にも感謝いたします。

石黒良昭(41商)

編集委員:

(編集人) 石黒良昭(41商)

(副編集長) 米持一夫(55経)

(委員) 益子 淳(43法)、鈴木浩子(58文)、池田勝彦(59文)、込山俊博(60理工)、上村美紀(H1文)

(写真) 寺川 毅(41経)

(顧問) 寺川徳子(40文)

